

PRESS RELEASE

(2023/9/13)

報道関係者各位



国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所
Forestry and Forest Products Research Institute

2023 年度 森林総合研究所公開講演会 「持続可能な豊かな森を築くー資源を提供してくれる森を築くために今必要な事ー」 開催のお知らせ

概要

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所は、2023年度公開講演会「持続可能な豊かな森を築くー資源を提供してくれる森を築くために今必要な事ー」を10月11日（水）に一橋大学一橋講堂（東京都千代田区）で開催いたします。皆様におかれましては、本講演会の開催について、紙面、番組等で広くご案内いただくとともに、当日、ご参加いただけますと幸いです。

背景

資源を提供してくれる森、それは私たちの先輩諸氏が「人工林」として造り、育ててきた森です。近年は環境問題の解決場所として注目されてきた森林ですが、私たちが生活するうえで利用する資源を提供してくれる「森」として改めて見直す必要があります。

こうした背景には、人工林を伐採した後に改めて植栽する「再造林」が行われず、造林未済地として残される山が急速に増えていることがあります。この原因としては造林保育の経費、素材生産・流通の経費、国際経済の中での木材の価格等、一辺倒では解決できない多数の問題を含んでいます。今回はこの問題に対峙すべく始まった最新の研究を紹介します。

内容

【講演】

「イントロダクションー日本の針葉樹人工林の現状を正しく理解するー」

研究ディレクター 宇都木 玄

「育林作業の省力化に向けてー最先端の技術と考え方ー」

九州支所 主任研究員 山川 博美

「素材生産技術の高度化ーここまで来た林業機械の自動化ー」

林業工学研究領域 収穫システム研究室長 中澤 昌彦

「世界の情勢に左右される木材の価値ー国際市場における日本の在り方ー」

林業経営・政策研究領域 研究員 早船 真智

「針葉樹だけで良いのかー立木の付加価値、広葉樹利用の温故知新ー」



関西支所 森林生態研究グループ長 山下 直子
「時間軸も考慮した資源管理－自立できる山づくりのために－」

関西支所 主任研究員 中尾 勝洋

【パネルディスカッション】

「木材利用を行なう森林のために、その理想像は 予定調和は成り立つのか」

開催日時・開催場所

・開催日時 **2023年10月11日（水曜日） 13:00～16:40**（12:30受付開始）

・開催場所 一橋大学一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋2-1-2）

・その他 参加無料／事前登録不要

詳しくは下記URLをご覧ください

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2023/20231011ffprilec/index.html>



お問い合わせ

森林総合研究所 企画部広報普及科広報係

Tel : 029-829-8372

E-mail : kouho@ffpri.affrc.go.jp